



# 藤胡蝶

令和 7年 7月 2日

取手市立藤代中学校  
第4号

【生徒数329名】

梅雨が明けていないというのに毎日暑い日が続いています。学校でも熱中症対策として、暑さ指数の確認はもちろん、こまめな水分補給や休憩など、体調管理に十分な配慮をしています。ご家庭でもお子様の睡眠不足やバランスのよい食事、クーラーによる極端な冷やしすぎ等にはくれぐれもご注意ください。

さて、夏休みまで3週間弱となりました。今週は部活動の県南大会、来週は三者面談と、7月も慌ただしい日々が続きます。そういった中でも夏休み前の残り僅かな学校生活を、慎重かつ集中力をもって進められるよう努力してまいります。

## 豊かな心の育成

本年度の「学校経営の方針」（学校運営協議会で作成）の4つの柱の1つに、「豊かな心の育成」があります。ポイントとして、

- コミュニケーションスキルの向上
- 自己有用感の高揚
- 道德教育の充実

を掲げています。4月より教職員の共通理解のもと、授業や学校生活において、その育成に力を注いでいるところですが、取手市からも同様の目的で様々な取組を実施していただいております。

特に今回は、1年生で行った「グループワーク授業」と「STANDBY授業」について紹介します。

### 【グループワーク授業】

取手市では中学校1年生を対象に、茨城大学教育学部教授の、正保先生による「グループワーク」の授業を行っています。

「グループワーク」の授業は、いじめや不登校を未然に防ぐための温かな人間関係づくりを目的としています。具体的には、「共通点探し」、「ウソ1つ」、「数字合わせ」などのゲームを入れ替わりながら少人数のグループで行うことにより、他者理解や人間関係づくりにつなげるものです。5月28日（水）に1年2組で行われた「グループワーク」では、全員が笑顔で楽しく活動するとともに、普段あまり話さない相手とも積極的に関わり、コミュニケーションスキルの向上に努めていました。



### 【STANDBY 授業】

こちらも取手市の取組です。6月23日（月）1年生を対象に、スタンドバイ（株）の鍛冶様を講師として、「脱いじめ傍観者教育」が行われました。

ビデオを視聴した後、「あなたはどちらの選択肢を選びますか？」の問いに、生徒たちはいじめについて真剣に考えることができていました。また、いじめで悩んでいるとき、タブレットから専門の相談員に匿名で報告・相談できることも伺い、安心した様子も見られました。

このように、学校だけでなく取手市の教育委員会等とも連携し、生徒たちの健全な学校生活をサポートするとともに、生徒の豊かな心の育成に励んでいるところです。

## 【7月の行事予定】

- 1日（火） 県南総体（～5日）
- 7日（月） 三者面談（～11日）  
特別日課（4時間）
- 9日（水） 県陸上（～10日）
- 15日（火） 1年生小中連携授業参観・  
情報交換会
- 16日（水） 市英語プレゼンテーション  
フォーラム
- 18日（金） 夏休み前最終日  
全校集会、表彰式
- 19日（土） 県総体（～25日）
- 21日（月） 海の日
- 27日（日） 茨城県吹奏楽コンクール  
県南地区大会

## 【ラーケーションの申請について】

今年度もたくさんの生徒が活用している「ラーケーション」ですが、その申請に関するお知らせです。

ラーケーションカード（申請書）の提出は、原則1週間前となっております。但し、保護者の方が急遽お休みが取れることになった場合などは、その限りではありません。ですが、事前に申請がなく、当日の電話連絡や事後のカード提出では、認めることはできません。ご了承ください。

## 校長室から

先月から部活動の総体が続いています。壮行会の折には、「勝負事だから必ず勝ち負けがある。大いに勝って喜び、負けて悔しい思いをしてほしい。それが自分自身を強くすることだから。」という話をしました。

大会後に各部からの報告を受けた際には、笑顔で県南大会に出場する喜びを語った生徒や、涙ながらに辛く悲しい思いを報告をした生徒など様々でした。こちらまで笑顔になったり涙が出そうになったり、感情の起伏が大きい報告会でした。

負けることによる心の痛みを回避するため、最初から挑戦しなかったり言い訳ばかり考えるのではなく、全力で戦い、そこで感じた思いこそが生徒の大きな財産であると思います。そういう経験はだんだんできなくなりますので、中学生のうちたくさん経験してほしいものです。県南大会の報告が楽しみです。